



あくていぶ21 矢野 仁志 議員

1 育児介護休業法について

質問1 特定事業主行動計画について、前期行動計画の検証と後期行動計画の進捗状況について問う。妊娠中及び出産後における配慮、子どもの出生時における父親の休暇取得、育児休暇を取得しやすい環境、育児休業等を取得しやすい雰囲気の醸成などはどのように取り組むのか。

答弁1 前期行動計画は具体的な数値目標を設定しなかったため、達成状況や評価が曖昧であった。後期行動計画では「女性職員の育児休業取得率100%を維持」「計画期間中の男性職員の育児休業の取得者

を0人から5人にする」「出産補助休暇を取得した男性職員の割合を89%から90%以上にする」「育児参加休暇を取得した男性職員の割合を51.5%から70%以上にする」「職員の年次有給休暇の平均取得日数を15日以上にする」等、5点の数値目標を掲げたうえで、具体的な取組を推進したい。具体的には、母性保護、経済的支援措置、育児時間、時間外勤務制限等の各種制度の利用について、適切な制度利用の促進に努め、数値目標に掲げた出産補助休暇や育児参加休暇などの特別休暇や年次有給休暇の取得に積極的に働きかけるとともに、管理職員は、業務遂行体制の工夫・見直しを行ったり、職場内の応援体制を作るなどの職場環境の整備に努めたい。



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- 1 鈴鹿市青年学級活動について
- 2 インフルエンザ予防接種補助内容
- 3 防火水槽の設置状況と安全対策

質問1 青年学級の評価と検証、将来の方向性は。

答弁1 青年学級は平成7年より知的障がい者の余暇活動の場として貢献してきたが、送迎の問題や利用者の固定化等何らかの手立てを講ずる必要がある。今後は精神デイケア事業とともに労働福祉会館を暫定利用しながら活動していくが、3障がいのフリースペースについては、障害者自立支援協議会でも優先的に取り組むこととしており、将来の施設整備を見据えて恒久的な場の確保が必要と考えている。

質問2 インフルエンザ予防接種の補助内容は。

答弁2 対象者は65歳以上の高齢者に加え、低所得者は年齢制限をはずし全年齢を対象としている。また本市独自として小さい子どもの接種率を上げるため、低所得者以外の1歳から小学校3年生までを対象として助成している。

質問3 市内にはどのような形式・容量の防火水槽があり、子ども等の転落防止等の安全対策は。

答弁3 市内に422基の防火水槽を設置。分類すると耐震性を考慮したものが172基。耐震性のない蓋付と蓋なしが250基。安全対策については専用金具でのロック等で安全性が図られているが、蓋なし防火水槽等で不備なものは定期的な点検で金網等の劣化や落下の危険が予測される場合は、必要な応急処置を施し、安全確保に努めている。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 通学路における安全対策について
(1) 明生小校区の歩道拡幅について
- 2 校庭の芝生化について

質問1(1) 明生小学校の通学路、市道271号線の歩道が一部未整備となっている。なぜできないのか。

答弁1(1) 平成9年に道路拡幅したが、必要最小限の面積を買収した。今後、地元自治会長の要望と地権者の協力を得て、事業を推進したい。

質問2(1) 国府小学校の芝生化の現状について、芝生化に至った経緯と効果について。

答弁2(1) 砂ぼこり対策から鈴鹿中央ライオンズクラブ及びNPO法人スポーツ施設サイエンス三重研究所から校庭の全面に芝生の寄贈を頂いた。また効果は、け

がが少なくなり運動意欲が増進し、校庭で遊ぶ子どもが増え、夏場の暑さも軽減された。

質問2(2) トラック部分を除かずなぜ全面に芝生化をしたのか。また、芝生化に要する経費はいくらか。

答弁2(2) 多くの競技に活用できるようにと、学校の要望でもある。また、経費はすべて寄贈であり、必要経費は水道代だけである。

質問2(3) 今後、他の学校でも芝生化を行うのか。

答弁2(3) 初期投資や維持管理費の費用面に問題もあり芝刈りや散水の労力から今後の課題としたい。

質問2(4) 平田野中学校の芝生化について

答弁2(4) 当中学校の立地条件や周辺環境を精査した上で、今後ワークショップ等を通し検討したい。